



星和電機株式会社

<https://www.seiwa.co.jp/>
京都府城陽市寺田新池36番地
TEL: 0774-55-8181



経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、
新技術に挑戦して、
社会に貢献する。

株主のみなさまへ 1

財務ハイライト(連結) 3

事業別の概況(連結)

 情報機器事業 5

 照明機器事業 6

 コンポーネント事業 7

新製品のご紹介 8

トピックス 9

財務の状況(連結) 11

財務の状況(個別) 12

会社概要 13

株主メモ 14

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループ第74期(2021年1月1日から2021年12月31日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

なお、当社は前期より決算期を3月31日から12月31日に変更し、当社グループの決算期を12月31日に統一いたしました。当期の業績に関しましては、前年同一期間(2020年1月1日から2020年12月31日まで)との比較により記載しております。

さて当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出や期間延長により各種経済活動が抑制されましたが、ワクチン接種が進み緊急事態宣言が解除となった10月以降は新規感染者数が減少し、国内経済は回復基調となりました。しかしながら、半導体や樹脂材料の供給不足、原材料価格の高騰、海運輸送逼迫に伴う海上運賃高騰やサプライチェーンにおける問題など、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このようななか、当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの感染予防に努めるとともに、マーケティング機能の拡充とソリューション営業力の強化を図り、競争力ある新商品の開発と生産体制の確立により収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当期の売上高は262億30百万円(前年同一期間は289億66百万円で9.4%の減少)、経常利益は14億45百万円(前年同一期間は18億27百万円で20.9%の減少)、親会社株主に帰属

する当期純利益は9億9百万円(前年同一期間は15億39百万円で40.9%の減少)となりました。

当期の配当につきましては、1株あたり15円とさせていただきます。

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の影響が予想できない状況で、景気の回復についてはひきつづき不透明な状況が続くと見込んでおります。そのようななか、国内では国土強靱化やインフラ整備のための公共事業は継続が予想され、民間の設備投資も大企業を中心とした積極的な投資姿勢が見られるものの、原油価格の高騰などに伴う樹脂材料不足や燃料価格・原材料価格の高騰、半導体の供給不足、海運輸送逼迫に伴う海上運賃高騰など予断を許さない状況が続くと予想しております。

このような状況のもと、情報機器事業では公共インフラ分野(道路・河川)での豊富な実績と保有する複合技術を活用して、市場ニーズに適合したソリューションを展開し、安心・安全・便利で経済的な製品・サービスの提供を通して社会貢献いたします。照明機器事業では産業施設・インフラ分野に対して安心・安全・快適で省エネルギーな「光」によるソリューションを展開し、複合技術を活用して付加価値の高い製品とサービスを提供いたします。コンポーネント事業では製品、部品、材料の高機能化と付加価値向上を図り、ニッチトップビジネスを軸に収益力を向上させ、シーズからニーズ創出を強化するとともにマーケットアウト思考により新規事業の

創出を図ります。さらに全事業におきまして、コスト削減と生産性の向上による収益性の改善を目指します。

そして、2021年9月1日には当社の経営理念のもとSDGsに賛同し、「SEIWA SDGs」を宣言いたしました。この宣言のもとでさまざまな社会課題に取り組むとともに、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

また、ひきつづき内部統制およびコーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に全社をあげて取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2022年3月

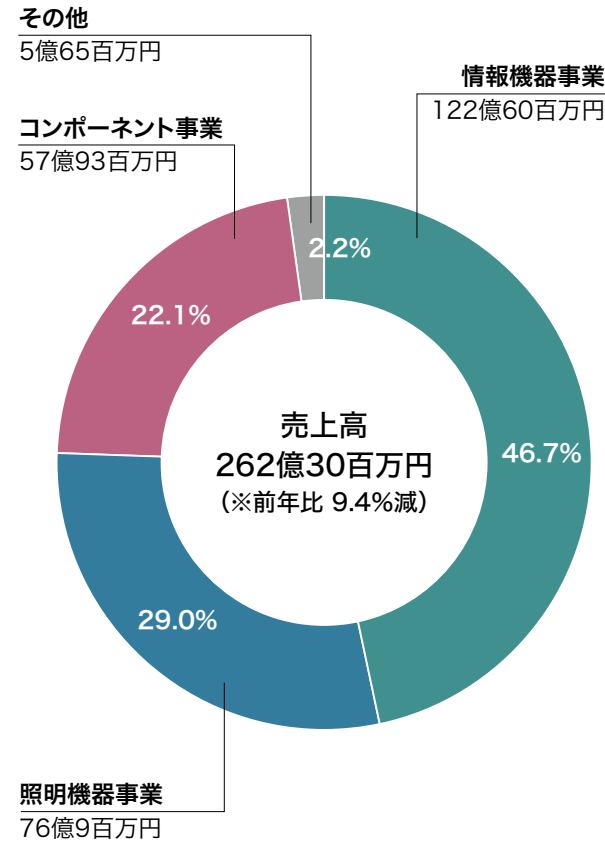
取締役社長

増山晃章

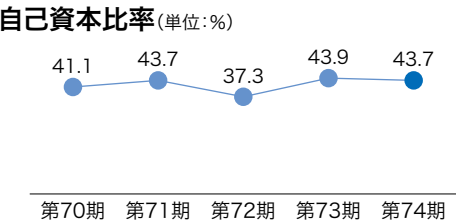
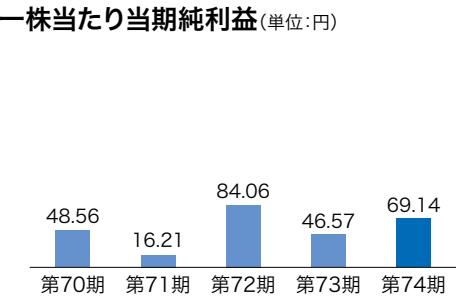
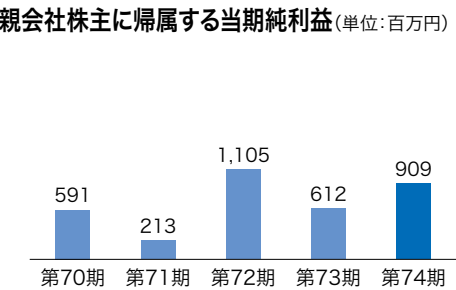
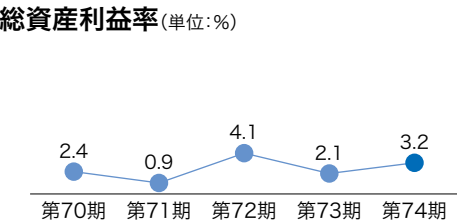
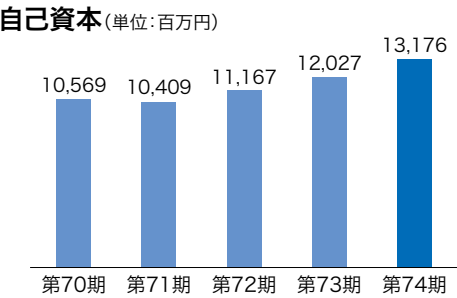
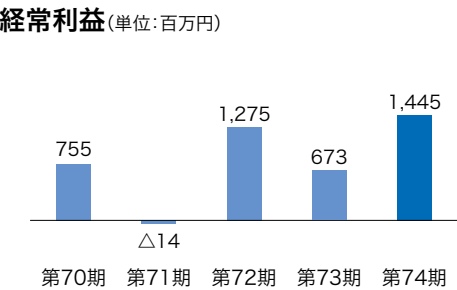
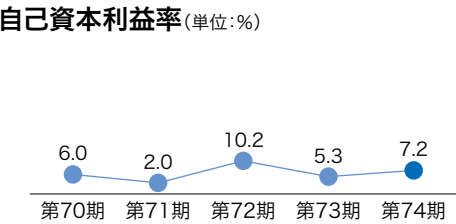
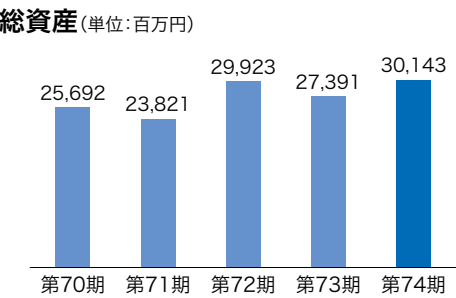
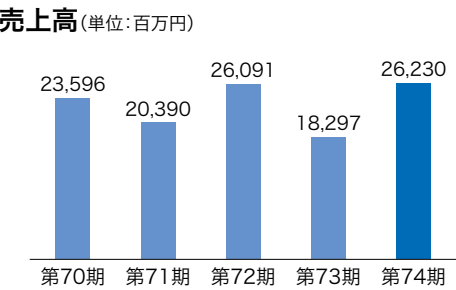


財務ハイライト(連結)

第73期は2020年4月1日から2020年12月31日までの9か月決算



※前年比: 前年同一期間(2020年1月1日~2020年12月31日)
売上高 289億66百万円との増減率



情報機器事業

主要製品:情報表示システム トンネル防災システム
LED式信号機

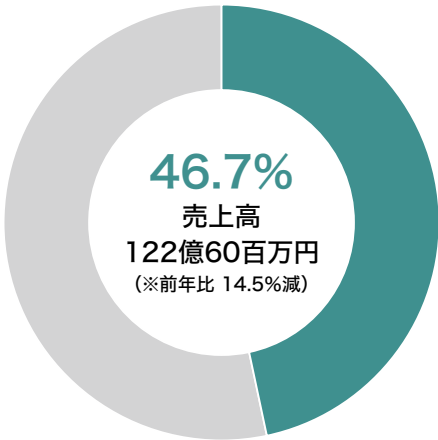
情報表示システムは、道路情報を主に、河川情報表示システム、トンネル防災システム、LEDによるインフォメーション・ディスプレイ、LED式信号機など、高度情報化時代にふさわしいコミュニケーションツールとしてあらゆるシーンへの対応を積極的に展開しています。



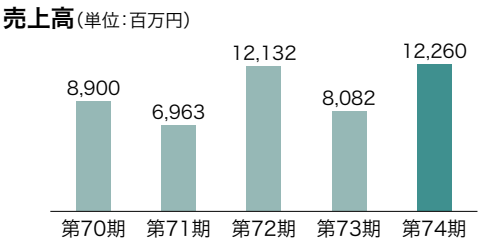
経路比較型休憩施設混雑情報板



補助警報表示板



※前年比:前年同一期間(2020年1月1日～2020年12月31日)
売上高 143億31百万円との増減率



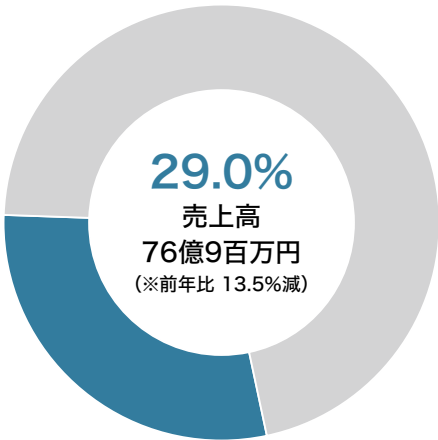
※第73期は2020年4月1日から2020年12月31日までの9か月決算

主力製品であります道路情報機器におきましては、期初の受注残高を背景に売上高を伸ばしましたが、前年同一期間に比べ高速道路向け、一般道路向けともに減少しました。

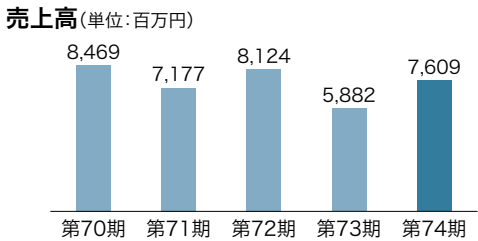
照明機器事業

主要製品:照明器具 制御機器 照明用LEDモジュール製品

「安全で人にやさしく」を開発テーマに、一般道・高速道路の照明やトンネル照明、産業用照明(防爆・防水関係)、街を彩る街路照明、ライトアップ用の景観照明など、LEDを光源とした各種LED照明に多くの実績を誇っています。特に、産業用照明の分野では"工場丸ごとLED化"を展開し、工場内の各所向けにLED照明をラインアップしています。



※前年比:前年同一期間(2020年1月1日～2020年12月31日)
売上高 88億1百万円との増減率



※第73期は2020年4月1日から2020年12月31日までの9か月決算

民間設備関連の産業用照明器具におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による定期修理工事の小規模化や延期、調達面での納期遅延などにより売上高が前年同一期間に比べ減少しました。公共設備関連におきましては、トンネル照明器具の売上高が大幅に減少しました。

コンポーネント事業

主要製品:配線保護機材 配管保護機材
電磁波環境対策部品

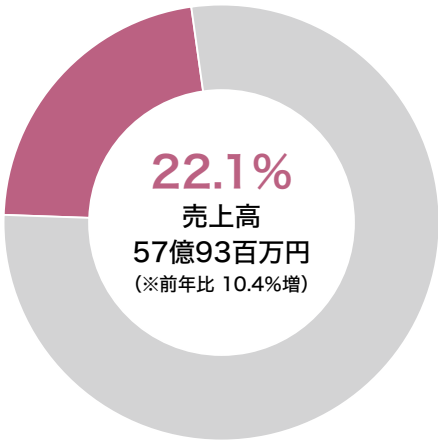
配線保護機材分野のパイオニアとして環境対策製品の開発にもいち早く取り組んでいます。
また、世界のEMI規格、イミュニティ規格に対応する電磁波環境対策部品を幅広くラインアップし、さまざまな用途に対応しています。



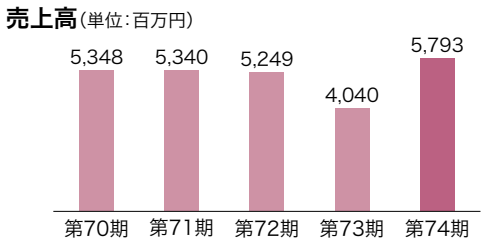
10m法電波暗室



分割ダストコア「E04SRR」シリーズ



※前年比:前年同一期間(2020年1月1日~2020年12月31日)
売上高 52億48百万円との増減率



※第73期は2020年4月1日から2020年12月31日までの9か月決算

配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材の売上高は前年同一期間に比べ増加となり、エアコン用の配管保護機材の売上高も在宅時間の増加に伴うエアコン需要拡大により増加しました。電磁波環境対策部品は半導体装置、車載機器向けなどで売上高は増加しました。

厚みわずか12mmのコンパクト設計！

多様なシーンで活躍できる
「防水形UV-C LEDモジュール」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景に需要が急増している除菌・衛生関連市場向けに新製品として光源にLEDを使用した「防水形UV-C LEDモジュール」を発売いたしました。
光源にLEDを使用したことでコンパクトな形状を実現し、これまでスペースの関係で搭載できなかった小型装置にも除菌機能を追加できます。
日常生活で繰り返し人が触れるようなボタン・取っ手・手摺りの除菌用途のほか、医療用工具・食品・飲料容器その他各種製造ライン等の水や湿気のある環境でも使用できます。



省スペースで最適なノイズ対策効果を実現

海外安全規格を取得
EMIフィルタ「E21NFB」シリーズ

電子機器の普及に伴い、他の電子機器への電磁妨害(EMI)を解消するノイズ対策が必要不可欠となってきました。
この度、幅広い帯域の伝導ノイズ対策に大きな効果を持ち、小型・軽量で低背タイプのEMIフィルタ「E21NFB」シリーズを発売いたしました。
当シリーズは、UL規格(アメリカ向け安全規格)とEN規格(EU向け安全規格)およびCSA(カナダ向け安全規格)を取得しており、北米およびEUに輸出する機器への搭載に対応しております。また、取付作業性の良いバネアップ式端子台を採用し、開閉カバー付きで安全性にも配慮しております。

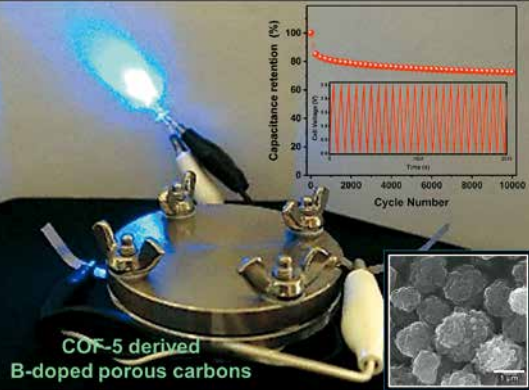


開発成果のご紹介

高比表面積
キャパシタ炭素電極の開発

当社と岡山大学、関西学院大学、英国Surrey大学の国際共同研究グループで細孔が豊富に含まれる高比表面積の多孔質炭素材料を開発いたしました。本材料は、電気二重層キャパシタ電極や触媒担体エネルギー貯蔵デバイスへの応用につながります。

本研究成果は世界的な学術出版社が出版する査読付き国際学術誌「Energy & Environmental Materials」に掲載されました。

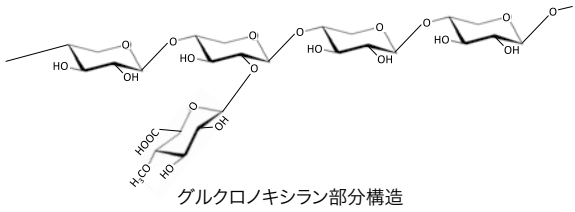


10,000サイクルの充放電試験後のテストセルを用いた
青色発光ダイオードの動作確認実験の様子

「令和3年度日本応用糖質科学会
技術開発賞」を受賞

当社と大阪府立大学、江崎グリコ株式会社の共同研究で天然糖質のグルクロノキシランの効果的な抽出となる製造技術を開発し、この研究が評価され、日本応用糖質科学会より「令和3年度日本応用糖質科学会 技術開発賞」を受賞いたしました。

この賞はでん粉をはじめとする各種糖質関連産業の技術開発に顕著に貢献した者に、日本応用糖質科学会より授与されるものです。



技術開発賞

SDGs

SEIWA SDGs

当社は、2021年9月1日に、「SEIWA SDGs」を宣言いたしました。「人材の開発と相互信頼に努め、新技術に挑戦して、社会に貢献する。」と定めた経営理念にもとづき、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に賛同し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

取り組むテーマは「モノづくり」「人・組織」「環境」「社会貢献」の4つで、さまざまな社会課題に積極的能動的に取り組むため、経営理念や経営戦略等にもとづいた目標を設定し、中長期的な視点で企業価値向上を目指します。

The poster is titled 'SEIWA SDGs' and features a large, stylized 'SEIWA' logo in the center. Below the logo, there is a list of the 17 SDGs, each with a corresponding icon. The text on the poster is in Japanese and describes the company's commitment to the SDGs. It mentions that the company is committed to the SDGs and is working to achieve them through its business activities. The poster also includes a section titled '当社のSDGsへの貢献' (Contribution of the company to the SDGs) which lists specific initiatives for each of the four themes: 'モノづくり' (Manufacturing), '人・組織' (People/Organization), '環境' (Environment), and '社会貢献' (Social Contribution).

SDGsトピックス

地域貢献 小学校でイルミネーション教室を開催

A photograph showing a classroom where children are participating in a Christmas light display activity. A teacher is standing at the front of the class, and several children are sitting at their desks, working on their projects. The room is decorated with Christmas lights.

工事施工地域の小学校でイルミネーション教室を開催いたしました。クリーンで経済的なLEDについて学びながら楽しくクリスマスリースを作りました。

久慈市 宇部小学校(岩手県)
「光るクリスマスリース作り」

地域貢献 当社製品を小学校に寄贈

A photograph showing a man in a suit presenting a box of products to a group of children in a classroom. The man is standing at the front of the class, and the children are sitting at their desks, looking at the box. The room is decorated with Christmas lights.

児童の熱中症の危険感知、インフルエンザ等の感染予防対策として温度・湿度の状況をリアルタイムで色でお知らせする製品を寄贈いたしました。

城陽市 寺田南小学校(京都府)
「おしらせカント君」

社会貢献 本社工場内の自動販売機を寄付型自動販売機へ

A photograph showing a vending machine with a sign that says '緑の募金' (Green Fundraising). The sign is green and white, and it features a tree logo. The vending machine is located in a public area, and it is used for fundraising purposes.

2021年10月より、本社工場内の自動販売機10台を寄付型自動販売機へ切り替えました。従業員が購入した飲料代の一部が、販売業者を通して「緑の募金」に寄付され、地域の緑化活動に活用されています。

財務の状況(連結)

連結貸借対照表			百万円単位、単位未満は切り捨て	
	前期(第73期) 2020年12月31日現在	当期(第74期) 2021年12月31日現在		
【資産の部】				
流動資産	19,676	21,582		
固定資産	7,714	8,561		
有形固定資産	3,013	3,271		
無形固定資産	611	643		
投資その他の資産	4,088	4,647		
資産合計	27,391	30,143		
【負債の部】				
流動負債	13,970	15,616		
固定負債	1,369	1,324		
負債合計	15,340	16,940		
【純資産の部】				
株主資本	10,961	11,738		
資本金	3,648	3,648		
資本剰余金	3,943	3,943		
利益剰余金	3,431	4,209		
自己株式	△62	△62		
その他の包括利益累計額	1,065	1,437		
非支配株主持分	23	26		
純資産合計	12,050	13,202		
負債・純資産合計	27,391	30,143		

連結損益計算書			百万円単位、単位未満は切り捨て	
	前期(第73期) 2020年4月1日から 2020年12月31日まで	当期(第74期) 2021年1月1日から 2021年12月31日まで		
売上高	18,297	26,230		
売上原価	14,743	20,817		
売上総利益	3,554	5,412		
販売費及び一般管理費	2,859	3,932		
営業利益	695	1,479		
営業外収益	116	150		
営業外費用	137	185		
経常利益	673	1,445		
特別利益	1	6		
特別損失	53	14		
税金等調整前当期純利益	621	1,436		
法人税、住民税及び事業税	56	331		
法人税等調整額	△46	193		
当期純利益	611	912		
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1	2		
親会社株主に帰属する当期純利益	612	909		

連結キャッシュ・フロー計算書			百万円単位、単位未満は切り捨て	
	前期(第73期) 2020年4月1日から 2020年12月31日まで	当期(第74期) 2021年1月1日から 2021年12月31日まで		
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,116	47		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△415	△801		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,711	906		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	78		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,020	231		
現金及び現金同等物の期首残高	2,980	1,960		
現金及び現金同等物の期末残高	1,960	2,191		

財務の状況(個別)

貸借対照表			百万円単位、単位未満は切り捨て	
	前期(第73期) 2020年12月31日現在	当期(第74期) 2021年12月31日現在		
【資産の部】				
流動資産	18,522	20,198		
固定資産	7,396	8,213		
有形固定資産	2,805	3,078		
無形固定資産	512	538		
投資その他の資産	4,078	4,595		
資産合計	25,918	28,411		
【負債の部】				
流動負債	13,858	15,490		
固定負債	1,246	1,185		
負債合計	15,105	16,676		
【純資産の部】				
株主資本	10,050	10,806		
資本金	3,648	3,648		
資本剰余金	3,882	3,882		
利益剰余金	2,582	3,338		
自己株式	△62	△62		
評価・換算差額等	763	928		
純資産合計	10,813	11,735		
負債・純資産合計	25,918	28,411		

損益計算書			百万円単位、単位未満は切り捨て	
	前期(第73期) 2020年4月1日から 2020年12月31日まで	当期(第74期) 2021年1月1日から 2021年12月31日まで		
売上高	17,842	25,808		
売上原価	14,496	20,595		
売上総利益	3,345	5,212		
販売費及び一般管理費	2,728	3,764		
営業利益	616	1,447		
営業外収益	107	137		
営業外費用	136	167		
経常利益	587	1,417		
特別利益	1	0		
特別損失	53	14		
税引前当期純利益	534	1,403		
法人税、住民税及び事業税	45	326		
法人税等調整額	△56	189		
当期純利益	546	888		

会社の概況 (2022年3月29日現在)

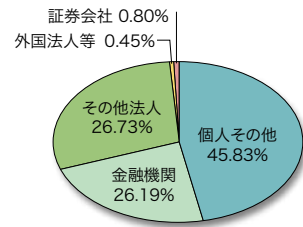
商号	星和電機株式会社
英名	SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
創業	1945年10月1日
資本金	36億48百万円

事業所	
本社・工場	京都府城陽市寺田新池36番地
東京支社	東京都台東区柳橋二丁目19番6号
関西支社	大阪市西区靱本町一丁目4番12号
中部支社	名古屋市東区葵一丁目26番8号
北海道支社	札幌市中央区大通西7丁目1番地1
営業所	盛岡・仙台・新潟・京都・高松・広島・福岡
駐在員事務所	バンコク(タイ)

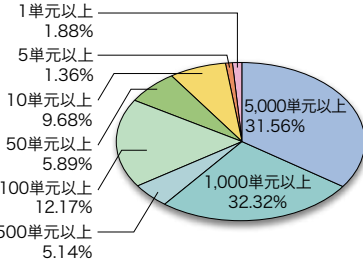
株主の状況 (2021年12月31日現在)

発行可能株式総数	33,782,000株
発行済株式の総数	13,238,700株
株主数	3,017名

所有者別株式分布状況



所有数別株式分布状況



役員 (2022年3月29日現在)

取締役社長 (代表取締役)	増山晃章
取締役 常務執行役員	乾勝典
取締役 常務執行役員	春山雅彦
取締役執行役員	寺垣敬司
取締役執行役員	竹之内光彦
取締役執行役員	小林浩幸
取締役執行役員	河合隆
取締役 (監査等委員)	望月友彦
取締役 (監査等委員)	益満清輝
取締役 (監査等委員)	千代田邦夫

※益満清輝および千代田邦夫は社外取締役であります。

執行役員 (2022年3月29日現在)

執行役員	古田雅也
執行役員	宮下雅良
執行役員	成平幸弘
執行役員	芦田二朗
執行役員	谷口浩二
執行役員	岩見恵一
執行役員	長谷部卓也
執行役員	十倉充伸
執行役員	倉本剛

※取締役であるものを除きます。

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
基準日	定時株主総会 12月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。)
	期末配当 12月31日
	中間配当 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	当社のホームページ(https://www.seiwa.co.jp/)に掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

	証券会社等の口座で株式をお持ちの場合	特別口座に記録された株式をお持ちの場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	※支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店	